

菱の実

佐賀大学理工学部同窓会会報 第20号



発行日 2018年7月1日

発行 菱実会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail dousoukai@sadai.jp

ホームページ <http://sadai.jp/alumni/>

編集 田中 高行

— 学びは生きている限り終わることはない! —

菱実会会長 穂屋下 茂

我が国は戦後教育と言われ、同じ考えで、同じことが、同じくらいできる大集団を作り上げる金太郎飴方式の教育を実施して、著しいスピードで戦後復興と経済成長を成し遂げるのに成功した。しかし、物資が豊かな時代になり、もはや戦後ではないと言われ、心の豊かさが問われる時代に移ったが、戦後教育思想からの脱却が遅れた。その結果、入学したものの目的がなく、自分の人生を深く考えたこともなく、将来何をすべきか問うたこともほとんどない人が多くなってしまった。そこに、少子化に伴って、大学を選ばなければ希望者は全員入学できる全入時代に突入した。OECD（経済協力開発機構）の教育ランキングによれば、日本の教育は徐々に下がっている感さえある。

文部科学省は教育現場にアクティブ・ラーニング、すなわち「主体的・対話的で深い学び」を求めるようになった。大学では初年次教育と称して「高校までの学びから大学での学びの転換」を教えることも試みている。しかし、学ぶ意欲の低い学生に、教える意欲もそれほど湧かない教育環境を根本から変える対策をとらない限り効果が小さいのは当然ではなかろうか。これは長年大学の教育になんともなく携わってきた者の率直な実感でもある。

学生も、卒業生も、在職者も、仕事を探している人も、定年になり第2の人生を迎えた人も、意欲や求める深さは違えども学びが終わることはないのに…もったいない話である。人は、生きるために何を学ぶのか、常に自分で主体的に考えなければならぬ宿命を持っている。同窓会ってそれを第三者的に気軽に語り合える絶好の場所ではなかろうかと勝手に思っている今日この頃である。皆さん、同窓会・同期会を大事にしましょうね。

第3回 菱実会賞 募集

平成29年度第2回菱実会賞 2名

山下 雄大 氏 (平成25年入学・機能物質化学科)

「全国区、佐賀市内、及び学内における国際交流活動」

三坂 祐人 氏

(平成26年入学・電気電子工学科)

「STEPSによる学内及び海外での国際交流活動と組織認知のための広報活動」



山下雄大氏

穂屋下会長

三坂祐人氏

募集 第3回 菱実会賞

佐賀大学理工学部在学生による社会活動、課外活動、学術研究活動などの活動において、成果や評価が顕著であるものに対して、佐賀大学理工学部同窓会「菱実会」が表彰いたします。
学生の皆様からの積極的な応募をお待ちしています。

- ・応募資格：佐賀大学理工学部在学生（同窓会費納入者、但し大学院生、博士課程は除く）
- ・応募対象となる活動期間：入学してから募集期間最終日まで
- ・募集期間：2018年5月8日（水）～10月31日（水）
- ・審査結果発表：2018年11月26日（月）※受賞者には、メールもしくは電話で連絡
- ・表彰式：2018年12月中旬を予定（賞状授与、副賞：図書カード）
- ・応募方法：「自己推薦書」を作成の上、添付資料とともに、同窓会事務局に直接提出（受付は、平日の10時～17時です）
- ・自己推薦書ダウンロードページ：<http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai/ryoujitsukaiyou/>
- ・申請書類提出先（問い合わせ先）：理工学部同窓会事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学「菱の実会館」内
理工学部同窓会事務局（佐賀大学同窓会と同じ）
TEL：0952-23-1253 FAX：0952-25-5700
e-メール：dousoukai_at_sadai.jp（_at_を@に書き換えてください）

菱実会 Web: <http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai/>
Facebook: <https://www.facebook.com/ryoujitsukai/>

学部長のあいさつ

理工学部長 渡

孝則 教授

猛暑や底冷えが交互に訪れ、同窓会会員様におかれましても体調管理にご苦労されておられることと存じます。

本年4月から佐賀大学の教員組織が大きく変わりました。全ての教員は「教育研究院」に所属し、各教育組織の専任となりました。理工学部の上位組織として、関連の研究及び教育センターなどを含んだ理工学系が、さらに理工学系と農学系を含む自然科学域が設置されました。全教員が同一組織に属することにより教育の場が広がりました。これは学生への幅広い知識の提供に繋がります。また、教員は関連センターとの連携が容易になり、境界領域研究が進展すると期待されます。専任組織も大学院から学部に変更しました。私の主たる肩書も工学系研究科長から理工学部長へと変わりました。

理工学部は平成31年度の改組申請中です。理工学部7学科体制から理工学部1学科12コース体制へと移行します。新体制については理工学部のホームページ (<http://www.se.saga-u.ac.jp/ug/index.html>) をご参照下さい。新カリキュラムの大きな違いは、1年次では専門コースに所属せず、理工学の基礎である、数学・物理・化学・生物を理解度別クラスで学び、学生の苦手とする基礎科目が克服でき、得意な科目は伸ばせる点です。また、重要であるデータサイエンスを共通科目とし、基礎を学ぶことができます。1年次の後期に、数学・化学・物理の分類に分かれ、2年次に専門12のコースに進む“レイトスペシャリゼーション(学年進行とともに専門を決め、それから専門を学ぶ)”です。これにより、入学生は1年次に自分に合った専門を見つけることができ、2年進級時に希望するコースへ進みます。このコースが合っていない学生は3年次初めに転コースもできます。一方、広い視点から考えられる様にサブフィールドPBL科目などの様に授業も工夫しました。大学院も改組しますが、ここでは割愛します。

本年度の重要な作業は、来年度の改組に向けた準備です。同窓生の皆様から、叱咤激励を受け、またアドバイスを賜り、“卒業して良かった学部”日本一を目指し頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



各学科長のあいさつ

数理科学科

学科主任 市川 尚志 教授

同窓生の皆様には日頃より本学科にご支援をいただき、誠にありがとうございます。平成30年度の学科長を務めております市川尚志です。本学科には現在10名の教員が所属しており、理工学部の学科の中では最小の教員数ということになりますが、各教員が教育と研究に熱心に取り組んでいますので、数学をきちんと身につけたい学生にとって、良い勉強の場を提供していると自負しています。また地域における数学教育への貢献を目指し、例年8月に「高等学校教諭と佐賀大学数学教員との交流会」を開催し、本学科の卒業生を含む近隣の高校の先生方と、入試問題や数学教育に関する意見交換を行っています。

本学科の卒業生は、教員・公務員・情報通信業・金融業・保険業などの分野で活躍していますが、これからも本人の希望する分野で就職できるように支援を行って参ります。最近、卒業生の方をお招きしてご講演をお願いする機会も増やしていますので、今後とも同窓会の皆様のご支援をよろしくお願い致します。



物理科学科

学科主任 鄭 旭光 教授

物理科学科は、来年度より改組され、理工学科の中の物理学コースになる予定です。理学系の学科に対して、「就職率が良くない」、「地元への貢献が少ない」など様々な厳しい意見もあることと思います。しかしながら、社会は様々な背景を持つ人員で構成されることで、多様性・補完性・柔軟性を持ち、イノベーションなどの基盤が培われるものです。これまでの先端技術が適用限界に遭遇した時、立ち返る場所は基礎となる物理である場合が少なくないことも現実です。卒業時点では、物理の学生は工学系のような専門的な技術・技能を持っていませんが、基礎だけは多く学んでおり、伸び代は誰よりもあると信じています。学問としての物理学はグローバルスタンダードであり、本学科の物理学研究は質においては外部機関より高く評価されている。この研究における評価は教育と対立して誤解されることもよくあるが、質の良い研究から質の良い教育が生まれてくると信じています。

卒業生の進路に関しては、物作り企業への就職を増やすように努力しており、少しずつ増えてきていると思います。物理の場合、地域への貢献の一つとして、教員養成があります。教員志望の学生には、教員採用の厳しい現実や仕事の厳しさを理解してもらい、進路のミスマッチを起ささないように取り組んでいます。進学に関しては、九大をはじめとした他大学院への進学が増えているのが最近の傾向です。

今後ともよろしくお願い致します。



知能情報システム学科

学科主任 福田 修 教授

同窓生の皆様こんにちは、平成30年度の知能情報システム学科の学科長の福田修と申します。最近、データサイエンス教育やプログラミング教育の重要性が注目されており、当学科も教育や研究に大きく寄与できるように努力を続けているところです。

平成29年の卒業生・修了生は80名でしたが、教員再受験のごく一部の学生を除いて全員が就職・進学いたしました。売り手市場だったこともあり、大学院進学よりも民間企業就職に人気が集まり、大学院進学は12名と定員を割ってしまい少し寂しいところです。地元への貢献を強く求められる昨今ではありますが、幸いにも佐賀には魅力ある情報系の企業などが多く、お陰様で県内への就職者が12名と好調となっています。

改組の計画は1年延びてしまいましたが、この原稿を書いている時点では、次年度には実施される方向で話が進んでおり、教員一同で新しいカリキュラムの準備を進めているところです。同窓生の皆様の御健勝と御活躍を祈念致しております。



機能物質化学科

学科主任 花本 猛士 教授

平成30年度機能物質化学科主任及び循環物質化学専攻長の花本猛士です。よろしくお願ひ致します。機能物質化学科、循環物質化学専攻及び先端融合工学専攻（化学系）の学生は、理学と工学が融合した化学教育を受け、学会発表並びに論文発表を行い、昨年に引き続き活発に研究活動を行っております。平成29年度、学部卒業生97名の内41名が就職（就職率95%）、54名が大学院に進学しました。修士修了生37名は36名が就職（就職率97%）し、学部・大学院ともに就職は好調です。

来年は学部の改組で理工学部1学部となり、現在の機能物質化学科は、生命化学コースと応用化学コースの2つのコースに生まれ変わろうとしています。前者のコースの卒業生は、主に生物が営む生命現象のメカニズムを解明し、工学に応用する生命化学を、後者のコースの卒業生は主に物質を原子・分子レベルで理解し新しい物質を創製し、セラミックスを始めとする材料工学、物質物性評価や材料分析に応用される分析化学等を学びます。将来的に、社会基盤に欠かせない化学材料の開発や医療の飛躍的な発展や食料・環境問題の解決につながるなど、安心して健康的な私たちの生活、さらには地域経済の発展にも大きく寄与していきます。引き続き変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げます。



機械システム工学科

学科主任 張 波 教授

機械システム工学科は1997年度の改組で機械工学科、生産機械工学科から生まれ変わって以来今年丁度20周年を迎えます。毎年90名程度の卒業生、40名程度の博士前期課程修了生に博士後期課程を加えると、総勢130名以上の学生を世に送り出し、20年間累計2,600名超の学生を輩出しています。現在は機械工学分野に留まらず、電気・情報分野にまで広げる幅広い分野のエンジニアとして全国各地で活躍し、日本経済を支えています。リーマンショック後の就職氷河期でさえものともせず高い就職率を誇り、特に直近の数年は機械システム工学科、機械システム工学専攻がともに就職率100%を継続しています。

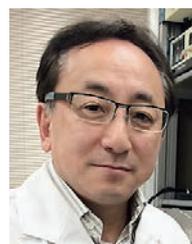
機械システム工学科は、JABEEの技術者教育認定基準に適合していることが認定されており、世界的に機械工学分野に活躍できる高度なモノづくり技術者を育成することを目標に掲げ、日々研究と教育に精進しています。



電気電子工学科

学科主任 高橋 英嗣 教授

同窓生・同窓会の皆様には日頃大変お世話になっております。当学科の近況についてお伝えします。電気電子工学を中心に幅広い領域の教育研究を可能とする充実した教育スタッフのもと、学部・大学院とも優秀な学生に入学していただいております。卒業生の約半数が大学院に進学しており、わが国の高度技術を支える人材輩出を実践しています。特に、大学院生においては国内および国際学会において多数の学術賞を受賞しており、本専攻のレベルの高さが客観的に証明されているものと喜んでおります。また、ここ数年は就職率100%を達成しており、これも理工学部キャリアデザインセミナーをはじめとした理工学部同窓会様のバックアップの賜物と感謝しております。平成29年度の卒業・修了祝賀会には菱実会から穂屋下会長の来席を賜り、学生・教員と同窓会の絆がさらに深くなったと感じております。今後とも同窓会と本学科の有機的つながりを通して社会に貢献できればと願っております。



都市工学科

学科主任 柴 錦春 教授

同窓会の皆さんに平成29年度都市工学科在学生・卒業生の活躍状況について紹介します。まず在学生の資格取得ですが、平成29年度は50名が技術士一次試験（技術士補）、5名が二級建築士に合格しました（定員：学部生90名；修士24名）。また、29年度は卒業生から9名の一級建築士合格者が出ました。

卒業・修了後の進路については、卒業生93名の内、公務員13名、進学15名、残りは全員民間企業に就職しています。修了生27名は、3名が博士後期課程に進学、2名の留学生在が帰国、他は民間企業（約半分はコンサルタント）に就職しています。

都市工学科の特徴の一つとして、理工学部の中では相対的に留学生を多く受け入れています。博士前期課程11名；博士後期課程13名の留学生在が在籍しています。また、短期交換留学生（SPACE-E）4名も受け入れています。都市工学科は日本人学生と留学生が一緒に勉強・研究する環境作りに力を入れています。



大学院に進学して

工学系研究科 循環物質化学専攻 有機材料研究室修士課程 1年
山下 雄大

私は今年4月から工学系研究科循環物質化学専攻の修士課程一年生になりました。文字通り、化学を専門としています。これまでに学部生時代に授業や実験、そして卒業研究を通じて、身近な自然現象を論理的に明らかにしていく“化学”という学問の面白さを改めて感じることができ、自分の専門に対する知見をより深めるだけでなく、これまでに蓄積してきた化学的理論、知識を活かせるような実践的な思考力を身につけたいという考えから大学院への進学を決意しました。私の現在所属する有機材料研究室では、ナノレベルの薄膜や高分子結晶をテーマに様々な研究を行っており、得



研究室メンバーとの集合写真

られた成果を最終的に有機材料へ応用していくことを目指しています。ナノレベルという極端に小さい物質を扱うことは非常に難しく、思うような結果を得ることが出来ないことが多々あります。しかし、幸いにも私は担当の教

授と研究室のメンバーに恵まれており、幾度となく研究における困難に直面しようとも、教授やメンバーの適切なアドバイスと励ましに支えられながら、何とか乗り越えることができています。また研



留学生との国際交流の様子

究生活以外にも、私は以前から国際交流活動に従事しており、現在もなお、学内、学外問わず異なる文化の背景を持つ外国人留学生との交流にも励んでいます。彼らとの交流を通じ、文化、社会、宗教等における分野で毎回新たな発見があり、異文化に対する理解を深めることができています。お互いの文化、価値観を尊重し、理解し合う“相互理解”は、現在急進的に進むグローバル化において非常に重要視されるものであると考えます。だからこそ、私の所属している国際交流団体のメンバーと提携し、これまでに築き上げてきた国際交流ネットワークを十分に活かし、現在、日本人と外国人に対して交流の場を提供できるようなプラットフォームを作ろうと企画しているところです。まだまだ企画の段階ですが、近いうちに佐賀大学の国際交流推進に貢献できるのではないのでしょうか。さて、最後にはなりますが、今年度、佐賀大学大学院に進学された全ての皆様の今後2年間で実りある充実したものになりますよう心からお祈りしています。共に頑張りましょう。

在学生

学び続ける自分を創る

(株)ドコモCS九州 ネットワーク運営推進部
西 隆行
(電子工学専攻・H5修了)

ドコモに就職して25年が過ぎました。ドコモのネットワークを支える基盤づくり、法人のお客様へのシステム提案、国家プロジェクト担当等々色々な職場を経験し、2年前から災害対応等で陣頭指揮を執っています。社内の異動の度に、学び続けながら自分自身の“OS”をフルバージョンアップしてきたなと実感しています。

もちろん、それは生活面も連動しての実感です。私には生活があって、その中の一部として、仕事があります。この25年は、東京と福岡を行ったり来たり。福岡に家族を残し3回の単身赴任生活を選択しました。2000年から2010年の間、妻は妻で子供たちの居場所づくりのために無認可の保育所を立ち上げていましたから、自然な選択でした。最近では副職を認める流れも出てきましたが、当時は、そういう時代ではなく、非常にストレッチした家族の選択でした。

もちろん、プライベートの夫婦の会話も自然と経営に関することになりましたので、自分の会社以外からの社会的な刺激によりずいぶん視野が広がったと思います。また、私自身の20代は、力量を上げることに力を入れ、30代は会社の中で中核として幅を広げ、40代は改めて、社内の違う職種にチャレンジをしました。とても、充実した豊かな25年だったなと思います。当時は、気づきませんでしたでしたがそうした私の“選択をする力”の中心にあったのは“好奇心”でした。

「自分の目で見た“世界地図を作るの”」とは、マンガのワンピースのナミの言葉です。外の世界を見たいという私の好奇心は、自分の中に地図を創っていく行為でした。このことがまさに、学び続ける自分を創るということでした。そして、その基礎は、佐賀大学在学中に、失敗しながらも新しい世界にチャレンジし続けたという経験にあります。

佐賀の田舎で育ち、大学生活まで佐賀にすることを選択しておきながら、ずいぶん遠くに来たなと25年を振り返って思う今日この頃です。



平成29年度 佐大同窓会長賞

この賞は佐賀大学同窓会長賞表彰規定に基づき、社会活動、課外活動、学術研究活動において、地域貢献が顕著であると認められた者などに同窓会長賞を授与し、その功績を称えるものである。

今回は教育学部・経済学部・理工学部・農学部の卒業生に賞状並びに副賞が渡された。

理工学部：平瀬研究室 大牟田プロジェクトチーム（3名）

代表者 池 尻 真 人 氏（都市工学科）

共同者 副 田 和 哉 氏（都市工学専攻）

永 山 貴 規 氏（都市工学科）

空き家の増加する福岡県大牟田市企画による「大牟田市民間空き家利活用・改修コンペ」において優秀賞を受賞し、空き家から生まれる新しいコミュニティとして、全国的に空き家の増加する地域においても利活用可能なアイデアとしても高く評価され、社会活動において大きく貢献した。



第14回 佐賀大学理工学部学生表彰式



平成30年4月3日(火)に理工学部1号館 地域連携デザイン工房にて理工学部学生表彰式が行われた。

学生表彰は2年次及び3年次の学生で成績が優秀であると認められた学生に対し、各学科から2名、合わせて14名が表彰され、同窓会（菱実会）からは、図書カードが贈られた。

平成29年度理工学部学生表彰者

(敬称略)

学 科	新3年	新4年
数理科学科	隈 部 哲	坂 口 一 生
物理科学科	岡 松 郁 弥	佐 藤 靖
知能情報システム学科	竹ノ内 宏 信	南 里 敢 太
機能物質化学科	庄 山 季 子	吉 永 大 起
機械システム工学科	中 川 裕 貴	澁 谷 光 一 郎
電気電子工学科	波 田 悠 暉	西 村 昭 彦
都市工学科	岡 本 海 知	阪 本 こ なん

学生の憩いの場コンペ

趣 旨) 大学キャンパスにおいて、四季を通じて学生たちが様々な活動を行い、憩い、交流する場が求められている。

佐賀大学本庄キャンパスでは、図書館、大学会館、かささぎホール、美術館などがそのような場として少しずつ整備されてきているが、まだ手つかずのところも多くある。教養教育大講義室前の広場もその一つであり、現在は、池や掲示板があつて時折バーベキューしたりする姿も見られるが、憩いの場として利活用が高いとは言えない。

学生のニーズに応えた空間になっていないとも考えられる。そこで本コンペでは、特に都市工学・都市工学専攻の学生を中心とする学生個人・グループを対象として、冬休みの宿題として提案を求めるものである。

特に学長賞については、実際に工事する上での参考にし、かつ長く榮譽を掲示することを前提としているため、学生の活動ニーズを踏まえ、リアリティに富むアイデアを積極的かつ自由に提案してもらいたい。特別賞については、リアリティよりも夢のある作品を選出する。

審査結果)

学長賞	広谷 洸多	(H25入・都市工学専攻)
同窓会長賞 優秀賞	副田 和哉	(H22入・システム創成科学専攻)
菱実会長賞 優秀賞	大久保 健太	(H29入・都市工学専攻)
菱実会長賞 佳作	宮 崙 晴基	(H27入・都市工学科)
	同 山田 章人	(H24入・都市工学科)
	同 江崎 史浩	(H26入・都市工学科)
特別賞	ホック パトリック	(H28入・知能情報システム学科)

審査講評) 作品数は少なかったが10点中6点はアイデア・デザイン・リアリティのいずれかの点で優れたものであった。

特に学長賞に選出された作品は、学内にゆったりとしたスペースを創り出す点が高く評価された。優秀賞作品については、市民の人たちも巻き込むことが可能なマルシェを創り出す装置として、学内のどこかに実現したい。菱実会長賞の優秀賞作品については、デザイン性が優れており、現在は差し障りのない学内に新しい空間を創り出す可能性がある。

設計段階・工事段階では、賞に選出された学生にも参加させ、案を具体化させることに協力してもらいたい。



学長賞



(広谷 洸多 作品)

同窓会長賞



(副田 和哉 作品)

菱実会長賞



(大久保 健太 作品)

平成29年度 理工学部キャリアデザインセミナー実施

理工学部キャリアデザインセミナー実施状況

理工学部同窓会主催

学 科	実 施 日	講 師・勤務先
数理科学科	H29.11.28(火) 13:00～ 理工学部6号館 DC310	塚本和広(平成21入・数理科学科) 日本ビジネスエンジニアリング 金融システム部
		緒方良徳 日本ビジネスエンジニアリング 金融システム部
物理科学科	H30.1.19(金) 14:40～ 理工学部1号館 318教室	間野晃充(平成20入・物理科学科) 宇宙技術開発株式会社 衛星技術部宇宙機エンジニアリンググループ
	H30.2.16(金) 14:40～ 理工学部1号館 318教室	山田雄太郎(平成25入・物理科学科) 株式会社 ミゾタ 森山敬太(平成20入・物理科学科) 株式会社 佐賀電算センター 産業事業部システム1部
知能情報システム学科	H29.12.20(水) 14:40～ 理工学部第7棟1階AV講義室	藤井智士(平成15入・知能情報システム学科) ㈱本田技術研究所
		平田彩弥(平成25入・知能情報システム学科) 木村情報技術株式会社 システム・サポート部
機能物質化学科	H29.12.1(金) 16:20～ 理工学部大学院棟203教室	松永龍嗣(平成17年入・機能物質化学科) 日本化学産業株式会社 総合研究所
	H30.1.26(金) 16:20～ 理工学部9号館6階セミナー室	中野安優美(平成24年入・機能物質化学科) ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) MIS製品部門プロセス技術部プロセス技術3課WET係
機械システム工学科	H30.1.19(金) 13:00～ 理工学部大学院棟301教室	北田幸夫(昭和60年入・生産機械工学科) 日之出水道機器株式会社 R&D総合センター
		井口了介(平成17年入・機械システム工学科) イーグル工業株式会社 AI・CI事業部
電気電子工学科	H30.1.5(金) 13:00～ 理工学部大学院棟401室	執行正和(平成18年入・電気電子工学科) 日立金属株式会社 技術開発グループ
		境田善行(平成17年入・電気電子工学科) 平井精密工業株式会社 熊本事業所 技術科生産技術
都市工学科	H29.11.8(水) 13:00～ 理工学部6号館1階	岸川礼(平成24年入・都市工学科) 悠悠ホーム株式会社 建設本部技術部
		四ヶ所拓宏(平成21年入・都市工学科) 建装工業株式会社 中部支店 重防塗装部

機械システム工学科キャリアデザインセミナー報告

機械システム工学科では、講師として2名のOBを招いて2018年1月19日(金)大学院棟301教室においてキャリアデザインセミナーを実施した。

北田幸夫氏(昭和60年入:日之出水道機器株式会社)と井口了介氏(平成17年入:イーグル工業株式会社)に会社での働き方等についてお話を伺った。さらに、就職活動を予定している学生は、まず自分の適性と理想とする将来像を熟慮することが重要であることなど、示唆に富んだアドバイスをいただいた。

参加した学生は、理工学部3年生・博士前期課程1年生を合わせて120名であった。質疑応答では、講演内容に関する技術的質問のほかに、企業の採用・人材育成の実際や、講師自身の就職活動体験に基づく助言に至るまで、活発なディスカッションが交わされ、就職活動に臨む学生たちにとって大変有意義な経験となった。



講演風景

菱実会の動き

H29 7月 ▶ H30 6月

- H29.7.1 ○ 佐大同窓会会報「楠の葉」No27 発行
- H29.7.1 ● 理工学部同窓会会報「菱の実」臨時号 発行
- H29.7.9 ○ 鳥栖・基山地区会／サンメッセ鳥栖
- H29.7.12 佐賀大学有田キャンパス祝賀会
- H29.7.13 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H29.7.21 ○ 福岡地区支部会／ソラリア西鉄ホテル
- H29.7.29 ○ 佐大同窓会「佐賀県内地区世話人会」／佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H29.7.31 ○ 佐賀市役所支部総会・懇親会／マリタレー創生佐賀
- H29.8.2 ● 理工学部同窓会「役員会・第2回 実行委員会」／同窓会事務局小会議室・海人
- H29.8.6 ○ 佐賀市地区会／グランデはがくれ
- H29.8.10 佐賀大学オープンキャンパス
- H29.8.24 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H29.9.2 ● 理工学部同窓会「総会・記念講演・懇親会」／佐嘉神社記念館
- H29.9.4 佐賀大学就職支援ヒアリング 理工学部同窓会参加
- H29.9.5 佐賀大学就職支援ヒアリング 有朋会・楠葉同窓会参加
- H29.9.30 ○ 神埼地区会／菊水
- H29.10.2 ○ 佐大同窓会「支部強化部会」
- H29.10.2 ○ 佐大同窓会会報「楠の葉」No28 編集会議
- H29.10.4 ● 理工学部同窓会「役員会・総会・懇親会反省会」
- H29.10.12 ○ 佐大同窓会「第4回学習会・第3回代表役員会」
講師：医学部長 原 英夫 先生
- H29.10.19 ○ 佐大同窓会「秋期定例役員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
- H29.10.19 ○ 佐大同窓会「第5回学習会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
講師：教育学部長 田中 彰一 先生
- H29.10.20 オプティム開所式
- H29.10.23 ● 理工学部同窓会「菱の実」No19 編集会議
- H29.10.28 ○ 大分支部総会・懇親会／大分アリストンホテル2F
- H29.10.29 上原春男先生元佐賀大学学長「しのぶ会」／ホテルニューオータニ佐賀
- H29.11.8 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(都市工学科) 卒業生2名
- H29.11.10 ○ 長崎支部総会・懇親会／ホテルニュー長崎
- H29.11.11 ○ 東海支部総会・懇親会／名鉄グランドホテル
- H29.11.15 ○ キャリアデザイン
講師：楠田 詞也 氏 (経済学部)
- H29.11.17 ○ 諫早支部総会・懇親会／L & L ホテルセンリュウ
- H29.11.18 ○ 第25回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール3F
- H29.11.21 ● 理工学部同窓会「会長・副会長会議」
- H29.11.22 ○ キャリアデザイン
講師：江副 真弥 氏 (文化教育学部)
- H29.11.23 さがを創る大交流会／佐賀県総合体育館
- H29.11.25 ○ 伊万里地区会／伊万里公民館
- H29.11.25 ○ 武雄地区会／八百重
- H29.11.25 佐賀大学ホームカミングデー／佐賀大学経済4号館
- H29.11.28 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(数理科学科) 卒業生1名
- H29.11.29 ○ キャリアデザイン
講師：平尾 泰博 氏・手寫 誠 氏 (理工学部)
- H29.11.29 佐賀大学農学部収穫感謝祭／佐賀大学農場
- H29.11.30 ○ 佐大同窓会「庶務担当部会」
- H29.12.1 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(機能物質化学科) 卒業生2名
- H29.12.6 ○ キャリアデザイン
講師：井上 泰宏 氏 (文化教育学部)
- H29.12.14 ○ 佐大同窓会「第6回学習会・第4回代表役員会」

- H29.12.20 講師：経済学部長 中村 博和 先生
- H29.12.20 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(知能情報システム学科) 卒業生2名
- H29.12.20 ● 理工学部同窓会「役員会・菱実会賞受与式」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H30.1.1 ○ 佐大同窓会会報「楠の葉」No28 発行
- H30.1.1 ● 理工学部同窓会会報「菱の実」No19 発行
- H30.1.5 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(電気電子工学科) 卒業生2名
- H30.1.17 佐賀大学「学生の憩いの場」コンペ 審査会議
- H30.1.18 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H30.1.19 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(物理科学科) 卒業生1名
- H30.1.19 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(機械システム工学科) 卒業生2名
- H30.1.25 ○ 佐大同窓会「佐賀大学教職員支部会」役員会
- H30.1.27 ○ 鹿児島支部総会・懇親会／ホテルレクストン鹿児島
- H30.2.2 ○ 佐大同窓会「新入生入学手続き入試業務打ち合わせ」
- H30.2.10 ○ 唐津地区会／唐津市民会館4F・懇親会：ビュッフェレストラン「パレット」
- H30.2.15 ○ 佐大同窓会「第7回学習会・第5回代表役員会」
講師：農学部長 有馬 進 先生
- H30.2.16 ● 理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」(物理科学科) 卒業生1名
- H30.2.25 佐賀大学前期日程入試
- H30.2.26 佐賀大学「学生の憩いの場」コンペ 表彰式／佐賀大学学長室
- H30.3.4 ○ 三養基地区会／吉野ヶ里温泉卑弥呼乃湯
- H30.3.6 ● 理工学部同窓会「役員会」／同窓会事務局小会議室
- H30.3.8 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H30.3.11 佐賀大学後期日程入試
- H30.3.23 佐賀大学学位授与式／佐賀市文化会館 卒業・修了者 1,646名(学部生1,327名・研究科319名)
- H30.3.23 ○ 佐大同窓会「佐賀大学同窓会長」表彰
教育) 坂井 秀輔 氏 (代表)
経済) 児玉 頼子 氏
- H30.3.28 ● 理工) 池尻 真人 氏 (代表)
農学) 松田 浩輝 氏 (代表)
- H30.3.28 ○ 佐大同窓会「佐賀大学教職員支部総会・定年退職者歓送会・懇親会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
- H30.4.3 佐賀大学入学式(学部生・大学院生合わせて1,724名)
- H30.4.3 ● 理工学部在学生表彰
- H30.4.4 新入生オリエンテーション
- H30.4.6 ○ 佐大同窓会会計監査
- H30.4.6 ● 理工学部同窓会 監査
- H30.4.12 ○ 佐大同窓会「第1回代表役員会」
- H30.4.13 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H30.4.19 ○ 佐大同窓会「春期定例役員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
- H30.4.26 ● 理工学部同窓会「会報会議」／同窓会事務局小会議室
- H30.5.10 ○ 佐大同窓会「楠の葉」No29 編集会議
- H30.5.10 ○ 佐大同窓会「巻頭言」練習
- H30.5.12 ○ 熊本支部総会・懇親会／メルパルク熊本
- H30.5.17 ○ 佐大同窓会「佐賀大学との意見交換会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
- H30.5.29 ● 理工学部同窓会「役員会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H30.6.7 ○ 佐大同窓会「佐賀大学校友会代議員会」
- H30.6.14 ○ 佐大同窓会「第2回代表役員会」
- H30.6.27 ● 理工学部同窓会「役員会・第1回 実行委員会」／佐賀大学「菱の実会館」多目的室
- H30.6.30 沖縄支部総会・懇親会／ホテルサン沖縄

(○印は佐賀大学同窓会、●印は理工学部同窓会、無印は佐賀大学)

平成29年度広報一覧 理工学部学生の広報活動への支援について

菱実会・理工学部広報賞の設立について

理工学部・工学系研究科では、教育・研究・地域貢献・国際交流などの各種活動やその成果を対外的に積極的にアピールすることにより、本学部・研究科に対する認知度とイメージ向上を図り、入学志願者数の増加につなげること及び同窓生への情報発信を目的として、平成29年度から広報情報収集体制を整備し、広報活動を強化しています。

その一環として、菱実会・理工学部広報賞を設立し、顕著な活動や学会発表での受賞等により理工学部・工学系研究科の広報に貢献した学生を表彰するとともに、菱実会の支援によりインセンティブとしてQUOカードを授与することとしました。

収集した情報は全て広報記事として、理工学部・工学系研究科ホームページ上に掲載しており、平成29年度の1年間での掲載数は82件と過去に例がないくらい増加しました。その内、学生に関する広報情報が34件集まり、計72名の学生に対して広報賞を授与することができました。これらの記事を通して、理工学部・工学系研究科の学生の高いアクティビティを発信できたものと考えています。

平成29年9月2日(土)に開催された理工学部同窓会総会・懇親会の中で、菱実会・理工学部広報賞受賞者を代表して3名の学生に対して授与式が挙行され、穂屋下(菱実会)会長より記念品が贈呈されました。

菱実会会員の皆様に感謝申し上げますと共に、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



菱実会・理工学部広報賞授与式後の記念写真

2017年度前期分 QUOカード対象者リスト

記事の日付	記事名	対象学生数	配布数	専攻
2017/5/19	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施	3	3	循環
2017/6/15	有機薄膜・デバイス・材料研究討論会にて大学院生が優秀研究発表賞を受賞	2	2	循環
2017/6/23	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(2)	3	3	循環
2017/6/28	電気電子工学専攻2年生が2017 Thailand-Japan Microwave (TJMW2017) Student Design Competitionで準優勝	1	1	電気電子
2017/7/4	循環物質化学専攻大学院生2名が優秀ポスター賞と優秀研究発表賞を受賞	2	2	循環
2017/7/4	小中学生対象の科学教室「磁石と電池の不思議」の実施	8	8	電気電子
2017/7/24	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(3)	3	3	循環
2017/7/26	ICT防災デザインに関する研究経過報告会を開催	1	1	電気電子
2017/7/19	SSH事業「リサーチセミナー」を致遠館高校で実施	3	3	電気電子
2017/7/19	人工知能研究に関する交流セミナーを開催	2	2	電気電子
2017/8/9	物理科学専攻、システム創成科学専攻大学院生が学生講演奨励賞を受賞	2	2	循環、シンク口
2017/8/29	先端融合工学専攻大学院生がDuane F. Bruley Awardを受賞	1	1	先端
2017/9/9	「菱実会・理工学部広報賞」授与式を挙行	3	1 2	シンク口 循環
2017/9/9	電気電子工学専攻大学院生がPoster Awardを受賞	1	1	電気電子
2017/9/19	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(4)	3	3	循環
2017/9/20	電気電子工学専攻の学生チームが学生マイクロ波回路設計試作コンテストで優秀賞	2	2	電気電子
2017/9/26	循環物質化学専攻、システム創成科学専攻大学院生がベストプレゼンテーションアワードを受賞	2	2	循環
		42	42	

2017年度後期分 QUOカード対象者リスト

記事の日付	記事名	対象学生数	配布数	専攻
2017/10/27	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(5)	3	3	循環
2017/11/14	機械システム工学専攻大学院生がFinalist in the SICE Annual Conference Poster Presentation Awardに選出	1	1	機械
2017/11/21	工学系優秀学生国際推進会「STEPs」によるインドネシア・ボゴール農科大学での海外研修報告会を実施	8	8	研究科
2017/11/27	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(6)	3	3	循環
2017/12/5	先端融合工学専攻大学院生がBest Poster Presentation Awardを受賞	1	1	先端
2017/12/5	循環物質化学専攻大学院生がBest Oral Presentation Awardを受賞	1	1	循環
2017/12/5	循環物質化学専攻大学院生がPoster Presentation Awardを受賞	1	1	循環
2017/12/20	システム創成科学専攻大学院生がIEEE AP-S Japan Student Awardを受賞	1	1	電気電子
2017/12/22	先端融合工学専攻大学院生が優秀発表賞を受賞	1	1	先端
2018/2/2	電気電子工学専攻の大学院生が映像情報メディア学会放送技術研究会の学生発表部門で最優秀賞と優秀賞を受賞(30.1.18~19)	2	2	電気電子
2018/2/13	電気電子工学専攻大学院生がBest Presentation Award for Young Researchersを受賞	1	1	電気電子
2018/2/15	システム創成科学専攻の留学生在が小学校でユニセフイベントの出前授業を行いました	1	1	電気電子
2018/2/15	インドネシア・スラバヤ工科大学とカリマンタン工科大学から教員と大学生を受け入れ科学技術研修を実施	2	2	循環
2018/2/20	先端融合工学専攻大学院生が計測自動制御学会九州支部奨励賞を受賞	1	1	先端
2018/2/28	電気電子工学専攻大学院生が日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会で学生優秀講演賞を受賞	1	1	電気電子
		28	28	

佐賀大学卒業式・謝恩会

理工学部同窓会では理工学部7学科が市内5会場にて開催した卒業祝賀会（学位記授与式・謝恩会）に穂屋下会長、島副会長が出向きお祝いの挨拶・学生歌、巻頭言を披露した。



新入生オリエンテーション

平成30年4月3日の入学式翌日、4月4日新入生オリエンテーションで同窓会役員が同窓会について説明を行った。

	学科	役員名
1	数理科学科	山口 智啓 副会長
2	物理科学科	穂屋下 茂 会長
3	知能情報システム学科	島 公二武 副会長
4	機能物質化学科	田中 稲穂 理事
5	機械システム工学科	平尾 泰博 副会長
6	電気電子工学科	津留 保生 理事
7	都市工学科	小玉 純士 副会長

佐賀大学 見学ツアー募集!!

平成30年度 菱美会総会・記念講演・懇親会開催の折、今年は変わりゆく「佐賀大学の見学ツアー」を企画しました。ぜひ、参加をお待ちしています。

開催日：2018年9月1日(土) 12:30~14:30
 集合：12:30 佐賀大学 旧正面玄関の石碑前
 参加費：無料（但し、事前申込をお願いします）

見学ルート



① 旧正面玄関の石碑
 正門、周りの塀がなくなりオープンなキャンパスになりました。



② 佐賀大学美術館
 当日は世界遺産：三重津海軍所跡から発掘されたものを展示中!!



③ クリエイティブ・ラーニングセンター
 そこのTV局に勝るとも劣らない設備を有しています。



④ 附属図書館



⑤ 理工学部8号館からの眺め
 理工学も大きくなりました。



⑥ (株)オプティム 本社
 佐賀大学卒業生が立ち上げたベンチャー会社の本社が2017年に学内に移転しました。

14:30~ 機械系実習工場前から送迎バス  で総会会場（佐嘉神社記念館）へ移動

佐賀大学理工学部同窓会 菱実会

第20回 総会・記念講演・懇親会のご案内

1. 日 時 平成30年9月1日(土) 受付 14時30分から

2. 場 所 佐嘉神社記念館 〒840-0831 佐賀市松原2丁目10-43
TEL 0952-24-4122

3. 日 程

(1) 受 付 14:30~

(2) 理工学部同窓会総会 15:30~16:10

(3) 記念講演 16:30~17:40

講師 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 池上康之教授

演題 「佐賀大学が育てくれた海洋温度差発電に学ぶ」

~「福の神」は「鬼の面」を付けてやって来た~

(4) 理工学部同窓会懇親会 18:00~20:00

アトラクション YOSAKOI「佐賀大学 嵐舞」

ビンゴゲーム

会 費 3,000円(当日徴収します)



※ご参加希望の方は氏名、学科、入学年度を同窓会事務局までお知らせ下さい。
E-mail: dousoukai@sadai.jp TEL: 0952-23-1253 FAX: 0952-25-5700

佐賀大学ホームカミングデーの開催

【期日】平成30年11月17日(土) 14:00~

【場所】佐賀大学本庄キャンパス 経済学部4号館及び美術館

【目的】佐賀大学の卒業生に母校を訪問してもらい、母校の現状を知り、恩師、学友との再会と交流を深め、今後の母校への御理解と御支援をいただければ幸いです。

【対象】卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内容】大学の近況報告、講演、美術館見学、懇親会等

(懇親会に御参加の場合、参加費2,000円が必要です)

※詳しくは、佐賀大学校友会のホームページ (URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>) の「お知らせ」を御覧ください。

申し込み・連絡先 校友会事務局 E-mail: kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp
電 話: 0952-28-8154



平成 30 年 4 月本店新社屋完成



おかげさまで、創業132年。
松尾建設株式会社

代表取締役社長 松尾 哲吾

本店/〒840-8666 佐賀市八幡小路1番10号 TEL.0952-24-1181
 本社/〒810-8506 福岡市中央区薬院三丁目4番9号 TEL.092-525-0111
 東京本社/〒166-0003 東京都杉並区高円寺南二丁目16番13号 TEL.03-5378-2271
 支店/仙台・東京・名古屋・大阪・広島・山口・北九州・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
 URL <http://www.matsuo.gr.jp/>



株式会社佐賀電算センター

ITで豊かな未来をつくること それが私たちSDCの使命です



株式会社佐賀電算センターは「ITの可能性を追求し続け、より豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念のもと、お客様・社会への信頼・期待に応え続けるITサービス企業として成長し続けています。

□本社 〒849-0915 佐賀県佐賀市兵庫町藤木1427-7 TEL (0952)34-1500 FAX (0952)34-1541
 □東京支社 □福岡支社 □久留米営業所 □長野営業所 □名古屋オフィス □福岡開発センター